【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和1年6月20日(2019.6.20)

【公表番号】特表2017-515917(P2017-515917A)
【公表日】平成29年6月15日(2017.6.15)
【年通号数】公開・登録公報2017-022
【出願番号】特願2016-550645(P2016-550645)
【国際特許分類】
Ｃ１１Ｂ　9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　9/01　(2006.01)
Ｂ２２Ｃ　9/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１１Ｂ　9/00　Ａ
Ａ６１Ｌ　9/01　Ｈ
Ａ６１Ｌ　9/01　Ｋ
Ｂ２２Ｃ　9/12　Ｂ
Ａ６１Ｌ　9/01　Ｖ
Ｃ１１Ｂ　9/00　Ｗ
Ｃ１１Ｂ　9/00　Ｂ
Ｃ１１Ｂ　9/00　Ｖ
Ｃ１１Ｂ　9/00　Ｃ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成31年4月26日(2019.4.26)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００７９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００７９】
パネリストが組成物を嗅ぎ、組成物の臭気を記録する。パネリストは、自分の好みに応じて、試験する各組成物に１つ以上の＋を割り当てる。パネリストが付けた＋の数は、１（最も不快な製品）から３（最も快適な製品）の範囲に及ぶ。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００８７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００８７】
【表１】

－表１－

試験するサンプル	臭気	保存安定性 （室温にて）
A_1	+	無色、安定（１年を超える）
A_2	++	黄色（１か月後）、不安定
A_3	++	黄色（１か月後）、不安定
A_4	+++	無色、安定（３か月後）

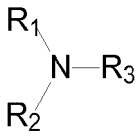
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００９４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００９４】
【表２】

－表２－

試験するサンプル	臭気	保存安定性 （室温にて）
A_1	+	無色、安定（１年を超える）
A_4	+++	無色、安定（３か月後）
A_5	+++	無色、安定（３か月後）
A_6	++	無色、安定（３か月後）

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ａ）組成物の総重量に対して少なくとも９９重量％の少なくとも１つの第一級、第二級または第三級アミンおよび
ｂ）組成物の総重量に対して最大１％の臭気マスキング剤（ｂ）を含む組成物であって、
前記臭気マスキング剤が：臭気マスキング剤の総重量に対する重量％として、
１０％から９８％のフェノキシベンゼン、ジフェニルエーテル、メトキシナフタレン、１－メトキシ－４－メチル－（４－メチルアニソール）、２－（２，４－ジメチルシクロヘキサ－３－エン－１－イル）－５－メチル－（１－メチルプロピル）－１，３－ジオキサン、メトキシメタン、メトキシエタン、エトキシエタン、２－エトキシプロパン、オキサシクロプロパン、オキサシクロペンタン、オキサシクロヘキサン、１，４－ジオキサシクロヘキサン、ジメトキシメタン、ジイソプロピルエーテル、テトラヒドロフラン、１，４－ジオキサン、ピラン、ジヒドロピラン、フェニルピラン、ジヒドロフェニルピラン、ならびにフェニルおよびアルキルで置換されたピランおよびジヒドロピラン、ならびに任意の割合でのこれらの２つ以上の混合物から選択される少なくとも１つのエーテル（ｂ１）：
１０％から９８％のテルピネン、ミルセン、リモネン、テルピノレン、ピネン、サビネン、カンフェン、オシメン、ユーカリプトール、シトラール、メントール、カンファー、メントン、テルピネオール、イソボルネオール、ネロール、シトロネラール、シトロネロール、リナロール、ゲラニオールおよびミルセノール、ならびに任意の割合でのこれらの２つ以上の混合物、ならびにテルペンおよび／またはテルペノイドをベースとする精油から選択される少なくとも１つのテルペンおよび／または１つのテルペノイド（ｂ２）、ならびに
１％から２％のシンナムアルデヒドオキシム、２－メチルブタナールオキシム、３－メチルブタナールオキシム、メチルエチルケトキシム、３－ヘプタノンオキシム、５－メチル－３－ヘプタノンオキシム、グリオキシム、ジメチルグリオキシム、ジアミノグリオキシム、プラリドキシム、オビドキシム、ペリラルチン、アソキシムクロリドおよびサリチルアルドキシム、ならびに任意の割合でのこれらの２つ以上の混合物から選択される少な

くとも１つのオキシム（ｂ３）、
を含み、エーテル（ｂ１）、テルペンおよび／またはテルペノイド（ｂ２）ならびにオキシム（ｂ３）の和は、１００％以下である、組成物。
【請求項２】
前記少なくとも１つのアミンが、式（Ｉ）のアミンである、請求項１に記載の組成物：
【化１】



(I)

（式中、
R_1、R_2およびR_3は、同一であっても異なってもよく、水素原子、１から１２個の炭素原子を含む直鎖または分枝アルキル基および３から１２個の炭素原子を含むシクロアルキル基から互いに独立して選択され、
R_1、R_2およびR_3から選択される置換基のうち２個は、これらが結合されている窒素原子と共に、２から１２個の炭素原子を含み、酸素、窒素、硫黄およびリンから選択される１個以上のヘテロ原子を含んでよい環構造を形成してもよく、前記環構造は、ヒドロキシル、アルコキシ、アルキルカルボニル、アルコキシカルボニル、ベンジル、フッ素、塩素、臭素、ヨウ素、硫黄、リンおよび窒素から選択される１個以上の官能基によって置換されてもよい）。
【請求項３】
請求項２に記載の式（Ｉ）の少なくとも１つのアミンを含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項４】
前記少なくとも１つのアミンが、プロパン－１－アミン、プロパン－２－アミン、シクロペンタンアミン、２－メチルプロパン－２－アミン、フェニルメタンアミン、２－アミノペンタン、３－アミノペンタン、１，２－ジメチルプロピルアミン、ヘキシルアミン、１，３－ジメチルブチルアミン、ｎ－ヘプチルアミン、ｎ－オクチルアミン、２－アミノオクタン、３，３，５－トリメチルシクロヘキシルアミン、エチルアミン（ＭＥＡ）、イソプロピルアミン、ｓｅｃ－ブチルアミン、３－エトキシプロピルアミン、３－（２－メトキシエトキシ）プロピルアミン、３－ブトキシプロピルアミン、３－（２－エチルヘキシルオキシ）プロピルアミン、３－イソプロポキシプロピルアミンおよび３－メトキシプロピルアミン、ならびに任意の割合でのこれらの２つ以上の混合物から選択される、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
前記少なくとも１つのアミンが、Ｎ－メチルエタンアミン、Ｎ－エチルエタンアミン、Ｎ－メチルペンタン－３－アミン、Ｎ－３－ジメチルブタン－２－アミン、ジ（ｓｅｃ－ブチル）アミン、ジアミルアミン、イソプロピルベンジルアミン、ジヘキシルアミン、ジエチルアミン、ジイソプロピルアミン、Ｎ－イソプロピルメチルアミン、Ｎ－ブチルメチルアミン、Ｎ－（ｓｅｃ－ブチル）メチルアミン、Ｎ－イソブチルメチルアミン、Ｎ－（ｔｅｒｔ－ブチル）メチルアミン、Ｎ－メチルペンチルアミン、Ｎ－ヘキシルメチルアミン、Ｎ－メチルシクロヘキシルアミン、Ｎ－ヘプチルメチルアミン、Ｎ－オクチルメチルアミン、Ｎ－エチルメチルアミン、Ｎ－エチルプロピルアミン、Ｎ－エチルイソプロピルアミン、Ｎ－ブチルエチルアミン、Ｎ－（ｓｅｃ－ブチル）エチルアミン、Ｎ－エチルシクロヘキシルアミンおよびＮ－エチルベンジルアミン、ならびに任意の割合でのこれらの２つ以上の混合物から選択される、請求項１に記載の組成物。
【請求項６】
前記少なくとも１つのアミンが、トリメチルアミン、Ｎ－メチルアジリジン、ジメチルエチルアミン（ＤＭＥＡ）、Ｎ－メチルアゼチジン、Ｎ－エチルアジリジン、ジエチルメ

チルアミン（ＤＥＭＡ）、ジメチルイソプロピルアミン（ＤＭＩＰＡ）、ジメチル（ｎ－プロピル）アミン（ＤＭＰＡ）、Ｎ－（ｎ－プロピル）アジリジン、Ｎ－イソプロピルアジリジン、Ｎ－エチルアゼチジン、Ｎ－メチルピロリジン、Ｎ，Ｎ，Ｎ’，Ｎ－テトラメチルジアミノメタン、トリエチルアミン（ＴＥＡ）、メチルエチル（ｎ－プロピル）アミン、メチルエチルイソプロピルアミン、ジメチル（ｎ－ブチル）アミン、ジメチル（ｓｅｃ－ブチル）アミン、ジメチルイソブチルアミン、ジメチル（ｔｅｒｔ－ブチル）アミン、Ｎ－エチルピロリジン、Ｎ－メチルピペリジン、ヘキサメチレンテトラミン、ジメチルピペラジン、Ｎ，Ｎ，Ｎ’，Ｎ’－テトラメチルジアミノエタン、ジメチルペンチルアミン、メチルエチルブチルアミン、ジエチルアミン、ジプロピルメチルアミン、Ｎ－プロピルピロリジン、Ｎ－エチルピペリジン、ジメチルヘキシルアミン、メチルエチルペンチルアミン、ジエチルブチルアミン、ジプロピルエチルアミン、Ｎ－ブチルピロリジン、Ｎ－プロピルピペリジン、ジエチルピペラジン、ジメチルヘプチルアミン、メチルエチルヘキシルアミン、ジエチルペンチルアミン、トリプロピルアミン、Ｎ－ペンチルピロリジン、Ｎ－ブチルピペリジン、ジメチルオクチルアミン、メチルエチルヘプチルアミン、ジエチルヘキシルアミン、エチルプロピルペンチルアミン、ジプロピルブチルアミン、Ｎ－ペンチルピペリジンおよびエチルジイソプロピルアミン、ならびに任意の割合でのこれらの２つ以上の混合物から選択される、請求項１に記載の組成物。

【請求項７】

アミンが、ＤＭＥＡ、ＤＭＩＰＡ、ＤＥＭＡ、ＤＭＰＡおよびＴＥＡ、ならびに任意の割合でのこれらの２つ以上の混合物から選択される、請求項１に記載の組成物。

【請求項８】

アミンが、ＤＭＥＡおよびＤＭＥＡと式（Ｉ）の１つ以上の他のアミンとの混合物である、請求項１から７のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項９】

少なくとも１つのアミンの臭気をマスキングするための、少なくとも１つのエーテル、少なくとも１つのテルペンおよび／または１つのテルペノイド、ならびに少なくとも１つのオキシムを含む請求項１に記載の臭気マスキング剤（ｂ）の使用。

【請求項１０】

ポリマーまたは鋳型の製造のための、請求項１から８のいずれか一項に記載の少なくとも１つの組成物の使用。

【請求項１１】

少なくとも以下の工程を含む鋳型を製造する方法：

ａ）バインダおよび好ましくは砂である骨材を含む混合物を調製する工程、

ｂ）工程ａ）で得た混合物を型内で成形する工程、

ｃ）成形した混合物を、液体形態または気体形態の、好ましくは気体形態の、場合により不活性媒体を含む、請求項１から８のいずれか一項に記載の少なくとも１つの組成物と接触して配置する工程、

ｄ）硬質、中実および架橋形態の鋳型を得るために、バインダ／骨材混合物を、請求項１から８のいずれか一項に記載の組成物によって架橋する工程ならびに

ｅ）鋳型を回収する工程。